



SCOUT CHIBA

スカウト ちば

平成23年度の目標
スカウト運動の基本に基づき
より良いスカウトを育てよう!
～まずは班制教育の徹底!～

発行：日本ボーイスカウト千葉県連盟
運動拡大委員会
発行責任者：小川 信一 編集長：上野 孝

〒263-0016 千葉県稲毛区天台6-5-2 千葉県青少年女性会館内
TEL 043-287-1755 FAX 043-287-1786

<http://www.scoutchiba.jp/>

	回数		隊数		団委員		指導者		スカウト		その他		計	
	登録数	前年度末数	115	549	1,494	2,253	5,279	2	9,028	2	3	9,331		

[加盟登録状況]平成23年2月末日現在



参加章在バッジの表裏

千葉国体協力の経験を生かしてお友達の輪をひろげよう!!

ゆめ半島 千葉国体・千葉大会協力実行委員長・県連盟副理事長 森屋 啓

“今房総の風となりこの一瞬に輝きを ゆめ半島千葉国体”は、昨年9月25日から県内32市町の会場で開催されましたが、当連盟はいろいろな場面で協力をしました。花いっぱい運動には5地区(東葛、香取東総、上総、市川・浦安、印旛)が、オリンピック聖火にあたる炬火の採火式には7地区(船橋、東葛、北総、香取東総、上総、市川・浦安、印旛)が、県内一斉クリーンアップ作戦には8地区(千葉、船橋、東葛、香取東総、上



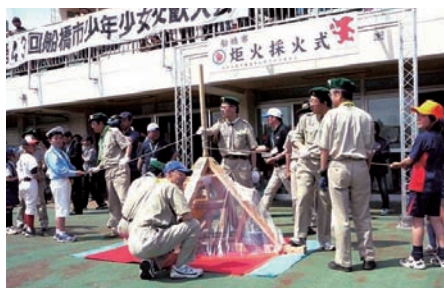
総合閉会式5種類の旗の降納

総、南総、市川・浦安、印旛)が、競技会場の式典支援などには4地区(松戸・鎌ヶ谷、香取東総、市川・浦安、印旛)が協力しました。そしてハイライトは、総合閉会式での国体旗の護持と総合閉会式での国旗など5種類の旗掲揚・降納と国体旗護持でしたが、南総を除く10地区のベンチャースカウト代表がボーイスカウトラしいきびきびとした行動で任務を果たし、森田県知事から感謝とお褒めの言葉をいただきました。このように地域の奉仕活動に



香取東総地区 表彰式でプラカード

延べ4千人ものスカウト・指導者が協力してボーイスカウトの活躍振りを地域の多くの方々に見ていただきましたが、この経験を生かして皆で協力し合いお友達の輪をもっともっと広げましょう!



船橋市 炬火採火式



印旛地区 県内一斉クリーンアップに参加

本当に大変だった国体奉仕活動

松戸第1団 ベンチャースカウト隊 福島 郁

国体の開会式、閉会式に式典ステージ係として奉仕しましたが、応募した時にはこれほど大変だとは思いませんでした。

まず初めは香取神宮で行われた合宿で、神奈川連盟横浜地区カラーチームのリーダーに基本動作を学びました。しかし、30人近くが動きを揃えて行進したり、向きを変えたりするのは難しく大変でした。合宿の最後に実技テストがあって、式典ステージ係に選ばれた時は、自分が選ばれるとは思いませんでしたので、とてもうれしかったです。

次に大変だったのが式典の練習とリハーサルです。炎天下での練習で制服が変色するほど汗をかき、閉会式のリハーサルでは気を失って倒れてしまい、多くの方に迷惑をかけてしまいました。今でも始まる前に水を飲まなかったことを後悔しています。

多くの苦勞をして臨んだ本番は、実を言うと大勢の観客を見て緊張してしまいあまり覚えていません。

終わって周りの方々から良かったと言っていたら、やってよかったと思います。

国体奉仕の貴重な経験

旭第1団 ベンチャースカウト隊 吉田 耕太郎

ゆめ半島千葉国体において、式典奉仕隊員として大会旗降納を行ったことは、とても貴重な経験となりました。

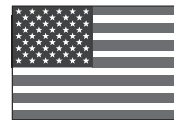
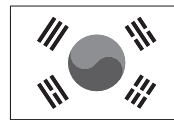
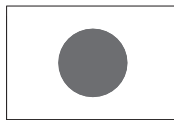
今回の奉仕でまず感じたことは、国体という大きな行事で奉仕することの責任の重さです。しかし、合宿などの訓練を経て奉仕隊内のチームワークも向上し、大きな役割を乗り切ることができました。私自身も奉仕することと同時に自分を成長させたいと思い、精一杯取り組みました。

また、今回の奉仕はジャンボリーなどで旗を使ったパフォーマンスで知られる、横浜地区カラーチームの方々のご指導のもと実施されました。訓練の時に彼らの動きを見て、そのレベルの高さに圧倒されましたが、同時に自分たちの演技を少しでもそのようなパフォーマンスに近づけたいと考えました。カラーチームの方々、私たちの気持ちを高めてくれたのです。

私は今後、このような貴重な経験をさせて頂いたことを心に刻み、自身のスカウティング、そして人生を歩みたいと思います。

国際交流

日韓(1/9~10)・



平成22年度

日米(2/5~6)スカウトフォーラム

日米スカウトフォーラムに参加して

船橋地区 船橋第6団 ベンチャースカウト隊 岡部 篤

私は、平成23年2月5日から2月6日にかけて、マロウドインターナショナルホテル成田で開催された平成23年度日米スカウトフォーラムに千葉県代表として参加しました。

日本の各都道府県代表スカウト40人、アメリカスカウト28人が、6つのグループに分かれて、このフォーラムのテーマである「新しいスカウティングの世紀、新しい始まり」~New Scouting Century, New Beginning~のもと、世界的に抱えている問題を改善するにはどうすればいいのか、日米のスカウト間で話し合いました。

私が今回の日米フォーラムに参加した理由は二つあります。一つはアメリカのスカウトとの交流を通して、多くの事を吸収することです。国、文化、生活など育ってきた環境が違う中で、私たち日本人にはない考えや行動に気づこうと思いました。

もう一つは、日本の良き伝統文化を自ら紹介することです。私は学校で和太鼓部に入っていて、篠笛をよく吹いているので、フォーラムでの夕食会で発表しようと思いました。実際にやってみて、緊張して冷や汗ばかりでしたが、日本人の一員として日本の文化を発表できたことはとても嬉しかったです。

フォーラム自体に関しては、私たちのグ



ループでは、基調講演や配布された課題プリントをもとに、「Think Globally, Act Locally (地球規模で考え、地域単位で行動する)」を継続的に行うには、「教育」が重要であると考えました。世界で何が起っていて、何を必要としていて、どのような活動がおこなわれているのかを全く知らない人が多い今日、そういったことを教え、活動を促す指導者の存在によって世界を変えて行けると思ったのです。そして、これらのことをより詳しくするため、「教育」「リーダーシップ」「奉仕」の3つの部門に分かれて話し合い発表を行いました。

フォーラムを終えての感想は、アメリカスカウトは世界のことを良く考えていて、ちゃんとした自分の意見を持っているなど感じました。プレゼンテーションにおいても、質問されたことに物怖じせず堂々と

自分の意見を言っていました。自分もこうした強い意志を持ち続けたいです。

また、アメリカスカウトと話し合う中で、自分の語学力の低さに改めて気づかされました。自分が伝えたいと思ったことが理解してもらえなかったり、相手の言っていることを理解しないまま軽い相槌をして話を流してしまったのは本当に申し訳なかったし、悔しかったです。今後このような機会があるならば、もっと語学を磨いて、ちゃんとした会話をしたいです。

私は、今回このような経験ができて、国際的な視野が広がりました。また、国内外に多くの仲間を作ることができました。この経験で得たことを多方面で生かしていきたいです。

最後に、今回のフォーラムに参加できたこと、そして、参加するに当たって多くの力添えをしてくださった方々に心から感謝申し上げます。



~「心!」は「言葉」をこえて~

東葛地区 柏第1団 ベンチャースカウト隊 川副 有香

私が日韓スカウトフォーラムに参加したきっかけは原隊の隊長からの誘いでした。私の隊の同級生も昨年フォーラムに参加していたので、「私も!」という気持ちもあり参加を決めました。

しかしフォーラムに参加するまでには試練が待っていたのです。最初の難関が県連面接です。

英語が苦手な私は、英語での自己紹介の間違いを面接官の方から指摘され頭が真っ白になってしまいました。そして運よく合格通知をいただいた後に待ち構えていたのは大量の事前課題。文章を書くことも苦手な私は、何から手を付けたらいいのかかわからず、課題を放ったらかしにしていたら隊長からキツイ個人指導を受けまし

た。でもくじけそうな私を「きっと楽しい思い出ができるから!」と支えてくれたのも隊長でした。

なんとか課題が終わり迎えた当日、同じ地区の参加スカウトとワクワクしながら会場に向かいました。グループが発表され、国別でのオリエンテーションがすむと、夜は日韓合同の開会式と歓迎夕食会です。夕食会では、日本と韓国のスカウトがグループごとに同じテーブルに座り、初対面ということも言葉の壁があるということも忘れるくらい、たくさん話をすることができました。私はこの夕食会で「言葉の壁は、テンションがあれば乗り越えられる!」ということを実感したのです。



2日目は、今回の日韓スカウトフォーラムのテーマでもある「よりよき未来・明るい世界」に基づいての基調講演・パネルディスカッション・分科会です。この分科会でグループ全体の仲がとて良くなりま

した。みんなのコミュニケーションの手段は「言葉」ではなく「心」そのものでした。

3日目、最終日は時間が過ぎるのがとても速く感じられます。私たちは、会って3日しか経ってないとは思えないくらい仲良くなっていました。閉会式では、韓国スカウトとの別れが寂しすぎて、抱き合っ泣きました。

このフォーラムで知り合ったスカウト

は私の大事な友達です。もちろん今でもメールなどで連絡をとっています。

私は今回の日韓スカウトフォーラムを通じて、たくさんのことを学びました。また、忘れることのできないたくさんの思い出もできました。他の人からみたら、まともな会話はできていなかったかもしれないけど、私たちにとっては、最高のコミュニケーションでした。このフォーラムで学ん

だことを、自分の将来に大いに役立てたいと思います。そして、このフォーラムに一人でも多くの後輩スカウトが参加してくれるように、このフォーラムの素晴らしさを伝えていきたいです。

最後になりましたが、フォーラムを支えていただいたローバースタッフ・通訳ほかスタッフの皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

参加するスカウトの兄、としての奉仕

上総地区 市原第1団 ベンチャースカウト隊副長 伊藤 直

今から8年前、ベンチャースカウトの私は岩手連盟代表として日韓スカウトフォーラムに参加した。友人と新幹線に乗り、右も左もわからずに不安な気持ちのまま、会場へ向かったことを今でも覚えている。当たり前なことだが、友人と岩手から首都圏へ向かうなんて、それまでの人生では無かったこと。そんな私の不安を払拭し、温かくスカウトフォーラムで迎えてくれたローバースカウト、スタッフの方々には、今でも感謝している。そんな8年前に経験したスカウトフォーラムのローバースカウトと同じ役割を、今年度の日韓スカウトフォーラムで担当した。

日韓スカウトフォーラムでの奉仕者は、グループ、またはセレモニーを担当する。グループ担当は、分科会でのグループのコーディネーター等スカウトに直接関わる奉仕、セレモニー担当は、開閉会式の司会等の奉仕を行う。私は両方を担当することに

なった。グループとセレモニーを担当するとなると、セレモニー開催中にスカウトと触れ合う時間を削らなければならない。開会式は、両国のスカウトが初めて顔を合わせる事となるが、私は司会のためスカウトのそばに居ることが出来なかった。「仲良く自己紹介は出来ているかな」、「仲の良い雰囲気かな」と不安ばかり頭をよぎっていた。日本のスカウトと初めて顔を合わ



せた時の彼らの不安そうな顔は、今も忘れることができない思い出である。しかし、開会式後に彼らの元へ向かうと、そんなことは全く気にする必要がなかったことを、知った。彼らは彼らなりの英語とボディランゲージを駆使し、楽しく交流していた。スカウトは、兄弟であるを改めて実感する機会となった。その後も彼らは、自分達でルールを守りながら交流を楽しんでいた。まるで、私を必要としない様に。

彼らは彼らなりの行動でスカウトフォーラムを楽しむことができ、私は彼らを信頼することを楽しめた。彼らが今回得た経験をこれからのスカウト活動で生かし、これからの自分達の行動で、人々の間に平和と善意という長く待ち望まれた状況を仲間と共に作り上げて欲しいと願う。また、私は、今まで私が得た経験を生かし、スカウト達の兄として、スカウトの為の奉仕を邁進して参りたい。

初めてのホストファミリーに！・親子体験記

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第1団 ボーイスカウト隊 石黒 智子

1日目 対面!

稲毛にある会場まで私(小6)と妹(小3)は2人で電車とバスで行くと決まっ



ていました。妹は挨拶位しか英語ができないので、私はとても不安でした。しかしお迎えに行ったら二人とも優しく英語もゆっくり話してくれたので私は少し安心しました。

アメリカのスカウトの名前はアンとケイシーです。二人とも美人で優しい人でした。

2日目

水族館に行きました。アメリカの水族館は生き物が少ないと聞いたので水族館に行きました。その日はサメとエイに触れる体験があり2人も私も楽しかったです。

3日目

午前中、プリクラを撮ったり日本式の遊

びをしました。でも時間はあっという間に過ぎ、お別れの時になりました。

たった3日間しかいませんでしたが「もっとほしいな〜」と思いました。

私はまだまだ英語がへたなので、うまくなくてアメリカのアンやケイシーの家に行ってホームステイをしたいです。

家族からの感想

我が家は誰一人として英語を話せません。しかし子供が「受け入れたい!」との意思でしたので協力するべく初のホストファミリーに手を上げました。

心強かったのはすぐに松戸第1団で歓迎会を企画してくれたことです。

英語会話をはじめ心配事があります。ゲストは17歳の高校生2人。一方、我が子は小学生。英単語もほとんど知らない子供達です。しかし、家について早々から「トランプをしよう!」「プリクラを撮りに行こう!」と子供達は積極的です。不思議と違和感も少なくホームステイがスタートしました。

二日目の夜の歓迎会では、たこ焼き・海苔巻き・茶道・書道・着付けなどの体験及びゲーム紹介など盛り沢山の企画で日米スカウト達は楽しい一時を過ごしました。

ゲストたち、ホストである私たちにしても短い期間でしたがお互いの文化を肌で感じられたよい機会となりました。

受け入れにあたっては心配するご家族が多いかと思いますが、振り返ってみると所属団にサポートしてもらえ安心感がありましたので「英語が話せない」「部屋がない」などの心配は二の次にして皆さんもホストファミリーになってみてはいかがですか!





第18回 千葉県カブラリー 開催のお知らせ

「めざせ!なぞのサークル」

18CR参加章
原案：茂原第2団ローバースカウト 斉藤 卓也さん

第18回千葉県カブラリー実行委員長 鎌倉 恵子

平成23年5月8日(日)第18回千葉県カブラリーが野田市で開かれます。

この千葉県カブラリーは、千葉県内のカブスカウトが同じ場所に集まって、楽しい時間をいっしょに過ごし、新しいお友達をつくることのできる3年に一度だけの大会です。今回参加するカブスカウトのなかまは、もう少し大きくなると平成27年に日本で開かれる第23回世界スカウトジャンボリーに参加することができます。このカブラリーが、県内だけでなく世界中にいる仲間のことを知るきっかけになればいいなと願っています。



カブスカウトのみんなのために最後の下見をしている実行委員会のメンバーのみなさん

カブラリーを楽しむために、組長やデンリーダーと一緒に組集会でいろいろ準備をしてください。準備をたくさんすると、カブラリーは何十倍も楽しくなります。

地図を開いてみてください。野田市はどこにあるの？自分の町からどうやって行くの？有名なものはなに？などなど、調べてみましょう。ベーゴマも練習して来てください。隊長やデンリーダーがベーゴマをできなくても、きっとだれかができるはず。できる人に先生になってもらってね。



さて、当日の午前中は、物語にそって「なぞのサークル」をめざして組ごとに探検ハイキングをします。ハイキングの途中で、「ベーゴマ大魔王」と対戦したり、「おせんべいマン」と出会ったりします。

みんなの来るのを楽しみにしているたくさんのお友達にも会いましょう。準備をたくさんすると、カブラリーは何十倍も楽しくなります。

それから、せっかくの楽しい大会なので、お友だちもさそって参加しましょう。お友だち(ゲスト)を招待していっしょに楽しく過ごすことは、カブスカウトにとって「カブスカウトのやくそく」と「カブ隊のさだめ」を守るよい機会となります。そのお友だちがカブスカウトのなかまになってくれたらもっともっとうれしいですね。

午後は、探検ハイキングを終えたなかまが全員集まります。どこに？もちろんなぞのサークルに集まるのよ。素敵なプログラムをたくさん用意しています。なにがあるのかな!?楽しみにしててくださいね。

それでは、5月8日、みんな元気な笑顔で野田であいましょう!

第16回 千葉県カブラリー

佐倉市佐倉城址公園にて開催(平成17年5月15日)



第17回 千葉県カブラリー

県立幕張海浜公園にて開催(平成20年6月1日)



県内各地区の隊活動便り

たこあ 凧上げ集会

市川・浦安地区 浦安第2団 ビーバースカウト隊 隊長 松村 英二



浦安第2団 ビーバースカウト隊は、凧上げ集会をおこないました。

2月13日は6日ぶりに曇ひとつない天気となりました。スカウトたちも元気

に集合です。「凧上げ」に大事な当日の風は北風で、しかもおだやかに吹く「凧上げびより」となりました。

開会のセレモニーが終わり、いよいよ、たこの組み立てです。たこを組み立てると、ビーバー隊長からポケモンシール

のプレゼントがありました。スカウトたちは好きなポケモンのキャラクターをひとつずつ取ってそれぞれの凧にベッタンコ♪ポケモンたちのように空高く飛べるかな～？

さあ、凧上げ開始です。最初はうまく風に乗れなくて、スカウトたちの凧は何度も落ちてしまいました。でも隊長やリーダーさんたちのアドバイスで風が流れている向きを教えてくださいました。そうしたらスカウトたちの凧がみるみると高くあがっていきました。

凧を持ちながら走り回るスカウト、凧とニラメッコするようにその場から糸をあやつって動かないスカウト、はたまた凧を放り投げて虫を探しにいつてしまうスカウトなど、個性いっぱいビーバースカウトたちでした。

閉会セレモニーでは、みんな大声で「楽しかった!」と笑顔で言ってくれたのがとても嬉しかったです。



スキーくんれんキャンプの日記

八千代・習志野地区 八千代第5団 カブスカウト隊 しか 佐藤 天馬

ぼくは2月の三連休にスキーくんれんキャンプに行きます。とても楽しみです。ちゃんとすべれるかしんばいです。

2月10日：大がたバスでスキー場へ行きました。雪がたくさんあってうれしかったです。

2月11日：スキーのれんしゅうをしました。風が耳にあっていたかったです。



ころび方も曲がり方もうまくできました。そのあと、しょきゅうコースに行きました。はじめてリフトに乗ったときは高くてすごく良かったです。

れんしゅうしてうまくす

べれるようになりました。やったーと思いました。

2月12日：3Kmの長いコースに行きました。ひとり乗りリフトはすごく良かったです。すべるのにとてもつかれました。ガスで5mさきも見えないけどがんばってすべりました。

2月13日：今日はさいごの日でした。トレインというわざをしました。コースを何人かで一列になつてくねくねしてすべります。と中で何人かころんだけど、すぐにおきあがって列にもどってよかったです。じつをいうとぼくもころびました。

スキーくんれんキャンプは寒かったけど楽しかったです。スキーがうまくできて良かったです。

すべり方を教えてくれてありがとうございます。また来年も行きたいです。



松戸・鎌ヶ谷地区 地区技能大会

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第10団 ボーイスカウト隊 重田 尚杜

僕が所属している松戸・鎌ヶ谷地区には、ふたつのボーイ隊の地区行事があります。一つは、「地区グリーンパー（班長）合同キャンプ」です。毎年11月の第1週に行われ20年以上続いています。



もう一つは、今年で6回目を迎える「地区技能大会」です。

「地区技能大会」とは、地区のスカウト達が、各自の所属する班の仲間と力を合わせ、ゲーム形式によってスカウト技能を競いあう大会です。大会に参加した班は、その年によって異なりますが、6～10個ほどのブースを回ります。ブースごとの課題の達成の度合いで点数が出され、その合計点で優秀班

2班と最優秀班1班が選ばれます。

昨年行われた第5回技能大会には、「ハヤブサ班」の班長として参加し、僕たち「ハヤブサ班」は、最優秀班に選ばれました。

第1回の技能大会で、僕の兄も「ハヤブサ班」班長として参加し、最優秀班に選ばれていたの、同じ最優秀班に選ばれたことが、とてもうれしく思いました。

最優秀班になれたのは、隊長・副長や上級班長の指導のもと、日ごろから班集会を通して班員一人一人がスカウト技能を上げてきた事、そして何よりも班員の皆が、僕について来てくれたおかげだと思えます。

今年は上級班長として後輩たちの指導、手伝いをしています。是非、昨年に続き、最優秀班に選ばれることを期待しています。



ゲット!!

富士章・千葉県連盟隼章・菊スカウト章 取得スカウト

平成22年8月19日～平成23年2月20日

千葉県連盟隼章				菊スカウト章				菊スカウト章				菊スカウト章			
十枝 伸英	千葉	1団		木下 直哉	市川	5団		岩井 孝宏	八千代	1団		印南 遥香	船橋	17団	
吉田耕太郎	旭	1団		早坂 海渡	浦安	1団		古田 尚輝	八千代	5団		深谷 直央	印西白井	2団	
菊スカウト章				菊スカウト章				菊スカウト章				菊スカウト章			
森 皓平	市原	6団		作田 航	鎌ヶ谷	1団		本間 亮	柏	3団		重田 尚杜	松戸	10団	
遠藤あずみ	茂原	2団		阿部 健太	千葉	14団		村上 祐大	千葉	8団		吉川 優宏	千葉	6団	
				大畑 宏樹	八千代	1団		田中 悠高	千葉	18団		鷹箸 宗人	東金	1団	
				石澤賢太郎	八千代	1団		宮崎はるな	茂原	2団		上田 瑞希	野田	7団	

宗教章

平成22年4月9日～平成23年1月26日

仏教				仏教				仏教				仏教			
三宅 敦子	流山	2団		井口 遥希	松戸	6団		勝見 斉充	君津	2団		佐々木裕太	君津	2団	
宮原 広樹	千葉	1団		宇都宮沙紀	柏	3団		藤原健一郎	君津	2団		武田 泰宙	柏	1団	
藤沼 創太	野田	1団		佐々木涼太	船橋	5団		森山 優太	君津	2団		キリスト教			
須藤柚稀子	松戸	6団		地曳 周嶺	木更津	2団		中村 翔	君津	2団		小林 怜史	千葉	1団	

富士章取得

北総地区 流山第2団 ローバーカウト隊 三宅 敦子

富士章取得は自分との戦いでした。年齢的にも学校の勉強や部活を言い訳に怠りやすい時期であり難しいものです。しかし、私の場合は毎日の部活内容を三年間ノートに書き綴り、評価反省をすることでアワードの一つ取得できました。少しの心掛けで自分のやりたいことをやってもとれるアワードはあります。皆さんもぜひ身近なもの・得意なものから考えてみてください。

また、取得過程においてくじけそうになった時、身近な指導者の方々が諦めないでいてくれたことで非常に助けられま

した。このような指導者の方々に出会うためにも、自身の活動の幅を広げ「繋がり」を増やすことが一番大切なことだと強く感じます。

ボーイスカウトは“自分はスカウトだ”



それだけで「繋がり」を作り出せる場所です。スカウト・リーダー、色々な方との「繋がり」はかけがえのないものになります。まずは活動に広く積極的に出て行きましょう。そこで刺激を得ることで自分の意識が高まります。

取得したいスカウトは「富士章を取りたい」と言う気持ちを強く持つことが一番大切です。自分のボーイスカウト活動を充実したものにするため、経験を増やし、仲間を増やし楽しんで取ることできた富士章は、自分の一生の誇りになりますよ。

わが地区自慢のキャンプ場紹介

「銚子第3団キャンプ場」 香取東総地区

銚子市は千葉県の北東端の町です。その銚子市の北東端の銚子漁港第三魚市場の近くの水産物即売センター「うおっせ21」に隣接する銚子ポートタワーのすぐ南に、銚子第3団キャンプ場があります。ということは千葉県の最北東端です。正確には、北緯35度44分24秒、東経140度51分46秒に位置します。

銚子第3団は海上山妙福寺を団本部に、昭和39年7月19日に銚子幼稚園を母体とし



て発団しました。今でもホームグラウンドは銚子幼稚園で、可能な限り施設を使わせてくださいますが、幼稚園の園庭では勝手なキャンプはできません。平成15年に「銚子市川口の土地をキャンプ場として使ってもよい」との、お申し出があり、念願のキャンプ場が持てました。

「わが地区自慢のキャンプ場」とのことですが、南北に64m、幅は北端が17.5m、南端が13.5mの面積約990㎡(306坪)の宅地ですから、みなさんの団キャンプ場の立派さにはくらべられぬ狭さで、隣にアパートもあります。ですが所有者のご好意で芝生を敷き詰めて下さいました。この芝生の手入れをする約束でお借りしております。キャンプに、集会に自由にいつでも使わせていただける幸せを常に感謝いたしております。

自慢としては、東側に2400万年前の古



銅輝石安山岩からなる夫婦ヶ鼻地層がみられる銚子市夫婦ヶ鼻公園があることで、キャンプだけでなく、夫婦ヶ鼻公園を利用してビーバー隊、カブ隊も集会を行っております。

キャンプ場問合わせ

銚子第3団 副団委員長
鈴木完勇 0479 - 22 - 2585
キャンプ場所在地
銚子市川口町2 - 6492 - 2

訂正 前号(67号)の第15回「日本ジャンボリー」報告の5ページ右段記事、「15N」に参加して「吉野 匡彦(八千代・習志野地区 八千代第2団)は所属団の記載に誤りがありました。正しくは「習志野第2団」です。おわびして、訂正します。

第7回 軽度発達障害勉強会 報告

千葉県連盟 安全委員会委員長 南 正晃

平成22年10月16日(土)千葉県総合教育センターにて「第7回軽度発達障害勉強会」が「自閉症および注意欠陥多動性障害等の理解と指導方法の研鑽」を目的として総勢77名の参加を得て開催されました。

午前中は、肥田クリニック院長肥田裕久先生より、各症状の説明・脳の構造・薬の持つ意味・どこで止めるのかを、パワーポイントを使い視覚的にわかりやすくお話をいただきました。特に放っておくと



二次障害に進み、取り返しがつかなくなる。これを防ぐためには、集団でのコミュニケーションが大切であることを強調されました。

午後からは、心理療法士の越森誠氏(市川2団ボーイスカウト隊長)より、コミュニケーションの取り方として「子どもたちの困りを理解」「子どもたちのシグナルを五感を持って受け止める」「手抜きをしない」などのお話があり、「コミュニケーションを

取っていないのはリーダーではないか」との指摘もありました。リーダーは、「子どもの目を見て、何を訴えているかをよく見る」「コミュニケーションの場に行く」「その場で真摯に対応すること」などが大切であることを強調されていました。

また、今年も「AD/HD」「統合失調症」を疑似体験できるバーチャルハルシネーションを肥田先生より5台準備いただき、殆ど参加者全員に貴重な体験をしていただきました。



新 地区だより



げ、踏み出します。

3. 印旛地区の強み

「団結力」と「向上心」。災害準備大作戦・県連盟総会・スカウト育成事業などに地区委員会・各種委員会・ラウンドテーブルが協力して当っていき姿は本当に頼もしく美しいものです。

編集後記

昨年9月に開催された「第65回千葉国体・千葉大会」での、当県連盟の各種奉仕活動や協力活動の様子とスカウトの体験報告をスカウト向け記事として掲載致しました。

まもなく開催されます「第18回県連盟カブラリー」の告知特集として、スカウト向けのお知らせ記事と前、前々回のカブラリーの写真をスカウトの興味を高める話題にして頂きたいとの思いで載せました。

国際交流では、ホームステイの受け入れに各地区とも、大変ご苦労されていることと思います。このたび日米スカウトフォーラムのうちに、初めてホストファミリーを体験されたスカウトとご家族からの貴重な体験記が寄せられました。ぜひご覧下さい。

編集長 上野 孝



1. スカウト対象の主要事業

スカウト教育の充実に加え加入者募集に狙い定めて進めています。

- 日本ジャンボリーは「明確な目標を持ち、参加意識の高いスカウト」を面接会で選抜し参加させました。8回の事前訓練の高出席率93%は楽しい大会につながりました。
- 今年5月の第8回地区キャンボリー「チームワークを大きな力に」は15NJ



スカウトが企画に参加しています。

- 22年11月の地区ローバース企画のピーパーラリー「秋だ、おそとであそぼ!」には、スカウト39人と募集対象のお友だち28人が参加しました。5月にも開催しました。
- 同じ11月の地区カブラリー「友好」はスカウト80人とお友だち10人の参加でした。

2. 地区経営の最大課題

「ストップ ザ減少」緊急対策特別委員会を設置し「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」を読み込み、スカウト、保護者、隊指導者からのアンケートを実施すると共に、県下「優良団からの学ぶ」とし視察研修を行った結果に基づき、体験入隊プログラムの効果的な実施方法の検討等を行い、現在、その成果を生かすべく各団が募集活動に積極的に取り組んでいます。

23年度はスカウト減少から反転「ゲット ザ スカウト+3%」を年次目標に掲

	回数	隊数	団委員	指導者	スカウト	計
登録数	11	53	122	122	344	588

(加盟登録状況)平成23年2月末日現在